

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		毎日の環境整備。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員の増員が叶い満たされている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			完全バリアフリー
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			適時にアンケートや面談などを行い、事業内でのミーティングや全体会議を行いその都度問題点の解決や対策を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		定期的な面談などにより聴取し、活用している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		令和元年5月より、市内に連絡会が発足され、参加始動しだしたばかりである。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		今後連絡会などでも、必要な研修などを行っていってくれるとの事なので、積極的に参加するようにしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援会議や面談などを行い、議事録・支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			日々の利用者の年齢や子どもの能力と利用時間に合わせた療育プログラムの作成と実施。また、訪問看護師と保育士や他の利用機関とが相談し、療育プログラムを作成実施を行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各スタッフのさらなる向上を目指し、積極的に立案していくようにしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			保育士などの専門職員の意見をプログラムに行かせるように勤める。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用者の状況等を家庭及び学校と日々連携を密にするアプローチを常に行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		今後も、さらなる充実化を図る。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			業務日誌と毎日の申し送りを実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		出来る限り、日々の反省点や問題点などを常勤職員が集まる時間に話し合う場を持ち、非常勤職員には申し送りや、回覧などを行う事で周知に努めている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		連絡帳や個人ファイル、ヒヤリハットなどの作成を行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適宜行い必要性を判断している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		支援会議に児発管及び必要に応じて保育士などが参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	適切に行えている学校は多いが、出来ない学校もある。出来ない学校に関しては、何度もアプローチをするなどを行ない少しずつ叶っているが、今後も継続して行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		親御様との連携を密にし、状態や情報なども職員間で周知に努め、把握をするようにしている。緊急時には主治医と連絡をとる体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	積極的に実施できるような環境づくりを行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	支援会議での情報の提示及び共有を実施できるよう努めている。 未だ該当者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	助言や連携は行っているが、研修は受けていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	一般の保育園や小学校からの利用者が多く、障害者支援からの通所の場合でも特に保護者が障害のない子供との交流を求めているため設けていない。保護者の意見を尊重する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	今のところ立設されていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送迎時の申し送りや定期的な面談などで聞き取りを行い共通理解が出来ている。今後も共通理解に努める。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	今後実施予定。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に個別に説明している。 変更などがあれば随時お知らせ配布などでお知らせしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や送迎時の申し送りや定期的な面談などで聞き取りを行い相談対応を行っている。今後も行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		本年、茶話会を実施し効果が得られたため、今後も実施していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		今のところケースは少ないが、敏速かつ丁寧に対応できている。 今後も継続して行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月発行しているお便りや制作物などで発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		情報の流出が無いよう細心の注意を払っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		充分なコミュニケーションをとり、気持ちを汲み取れるように配慮している。今後も相手の立場に立ち配慮する姿勢に努める。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		事業所の行事時に地域の老人デイサービスに協力を依頼し、訪問し交流を行っている。 その他、自治会の呼びかけを行い、本年から夏祭りへの地域の方の参加の呼びかけの準備を進めている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		茶話会などの際に周知に尽くしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		実際に想定した避難訓練を実施している。 今後も多ケースに応じた訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		年間研修などで、実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	そのようなケースの児童がいないため、実施していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	親御さんからの聴取や、検査結果の提示やコピーなどはいただき個別に対応しているが、医師からの指示書は無い。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットが起こった際に記録を行い、対策について職員間で情報共有、対策を練り、再発防止に努めている。